

うるま市・沖縄県立中部病院

「派遣型救急ワークステーション」覚書を締結！

うるま市と沖縄県立中部病院は、平成25年3月22日（金）に「うるま市消防派遣型救急ワークステーション」の覚書の締結式を行いました。県内初の事業として平成25年度から運用を開始いたします。



覚書に署名するうるま市長（左）と県立中部病院院長（右）



消防と医療の連携にかたい握手！

（左：うるま市長 島袋 俊夫）（右：沖縄県立中部病院院長 宮城 良充）

目的

うるま市消防本部から、沖縄県立中部病院へ救急車と救急救命士を含む救急隊員を派遣し、病院実習を行いながら、救急出動するシステムです。

この取り組みにより、救急隊員の実施する救命処置の質の維持及び向上を図るとともに、医師が救急車に同乗して現場出動する事により、傷病者の救命率の向上を図ることや、救急隊員が医師から直接的な指示や、指導、助言を受けて処置を行うことが可能となります。



病院実習中のうるま市石川消防署の救急救命士



病院実習の合間で検証会

写真（前列中央、指導医 高良剛ロベルト医師）

今後とも、地域の安全・安心のため、救急医療の向上に努めて参ります。